

vol.32

東十郷まちづくり協議会会報

G

NO WAR



# Gochan NEWS



夏季号

# 十郷用水伝説

「天平の世から受け継がれたもの」

今から約九百年前、越後の国を治めていた藤原家は、奈良の春日神社が氏神であったため、今の坂井町辺りの土地六百町歩を寄進し、春日の神様をお迎えして、神社を建立した。

その頃、坂井町は水が少なく畑ばかりであった。大豆や麦はとれたが、水田はなく、住民達は何とか水田を作りたいと願っていた。

当時、新庄郷の徳丸一男、水上定茂、末広武長という三人の神主は住民の願いを何とかかなえようと、山の平泉寺にお願したところ、平泉寺は奈良の興福寺にはかり、興福寺はこれを朝廷に奏した。

天皇からは「春日神社に祈れ」と勅命があり、神主たちは人々の願いが神様に届くようにと一心に祈った。すると不思議にもある夜、三人とも同じ夢を見た。夢の中で神様は、「九頭竜川の川上を尋ねていけ、必ず水が得られるであろう。」と言われた。

九頭竜川の川上をどんどん登っていくと、現在の永平寺町の鳴鹿の辺りまでたどり着いた。山の端近くま

で来ると、谷間から御幣をくっつけた一匹の鹿が現れた。

「これは神様のお使いに違いない、きつと、水のことを教えてくださるのだらう」と、その後についてくるとやがて、鹿はその歩みを止め、三度鳴き御幣を振り回した。それから九頭竜川を離れて西へ西へと走っていった。しばらくいくと、鹿は、右へ行つて座つたり、左へ行つて座つたり。そして再び走りだした。三人は懸命にその後をついていつかどうとう本庄の春日の辺りで見失ってしまった。

三人の神主はこの事を住民に話し、鹿の歩いた後を掘り水路を作り、鹿の鳴いたところで川をせき止めて、掘った水路へ水を流した。また、鹿が右へ行つたり左へ行つたりしたところでは、用水が別れるようにした。こうして坂井平野の十の村々（郷）の畑は良い水田に変わっていった。鹿の鳴いたところは鳴鹿と言われて、現在立派な堰堤ができています。坂井平野の各地に春日神社があるのは春日の神様の助けて水田ができた



のを有難く思ったからであろう。

応保二年（一一六二年）、藤原氏の子孫・齊藤別当実盛は、若宮の十郷用水から水路を分け、定旨、河和田、長屋などへ掘り開き、これが五ヶ江の用水となった。この用水は実盛江とも呼ばれ、実盛の偉大さを今に伝えている。



写真提供/坂井地区用水合同土地改良区協議会

### 九百年の歴史は水争いの歴史

隣接各村では水を求めて紛争が幾度か起こっている。

天和三年（一六八三年）から文化五年（一八〇八年）にかけて何回も発生した十郷用水の末端である田、本荘村中番と下番の境界にある字中ノ橋の紛争、寛延四年（一七五一年）、五領ヶ島の住民が鳴鹿大堰を襲い、これを切崩し井骨まで破壊するといふ大事件など・・・。

素掘りの用水だったため昭和四十四一年頃からの用水の圃場整備、米の品種改良や兼業農家の増加などの理由から水争いはほとんど無くなった。

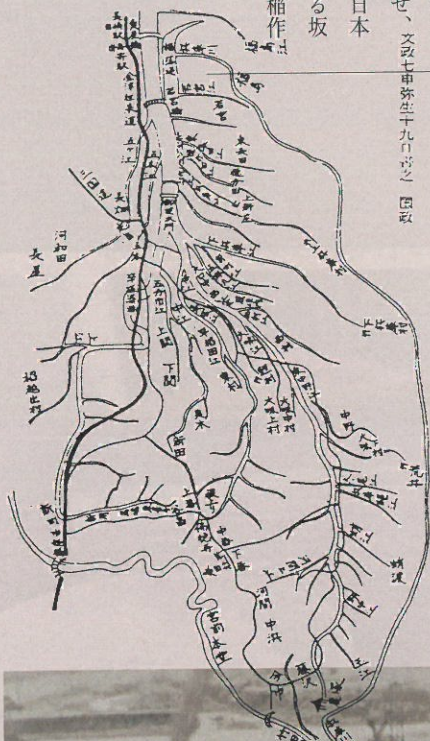
### 二十一世紀農業へのビジョン

現在、水路の老朽化や用水の不均衡、維持管理費の問題、水難事故として何よりも水質の悪化など大きな問題が課題として残されている。そこで、二十一世紀に向けた希望ある農業のために、そして有限で大切な資源である水を効率良く使うために、水路の改修、用水の一元管理、用水の再編成を目的とした九頭竜川下流域農業用水再編成対策事業の実施が行われた。

これは、老朽化した幹線用水路を新たに地下パイプライン水路として整備し、水難事故や現在一五%ある漏水を防ぎ、しかもパイプ化された水路敷を利用した公園や道路・駐車場などを整備し憩いのあるまちづくりをしようというものである。

また、集中管理システムによる水配分の合理化をはかり、限られた貴重な用水の有効利用を可能にさせ、不足地区への転用なども行い、日本一おいしい米どころとも言われる坂井町では、水の量や温度などに稲作に影響してくる。これを適正に管理していこうと言うわけだ。

（下巻につづく）



文政七年(1824)の図



上新庄の春日神社

写真提供/坂井地区用水合同土地改良区協議会

土曜日・日曜日・祝日がお休みの不思議なおうちカフェ MUC  
新鮮な緑黄色野菜を使った、日替わりのムクランチを是非味わってください。



坂井中学校のすぐ裏に新居を構えると同時に、自宅カフェとして、『おうちカフェ MUC』を開業し、今年で15年。

現在では、カフェの営業スタイルも様々ですが、当時は、カフェなのに土日祝が定休日というムクのスタイルに驚かれました。今思えば、先駆けでしたね。(笑)

SNS時代ではないその頃、隠れ家みたいな場所での開業は、すごく不安でしたが、始めてみると、嬉しい誤算で、いわゆる口コミでたくさんのお客様が来店して下さいました。

ただ、お店、子育て、家事に追われ、一日があっという間の日々に、『こんな毎日でもいいのだろうか?』と自問自答する事も度々ありました。

その度に、来店されたお客様が、喜んで下さる様子を見て、『もう少しだけ頑張ってみよう!』と奮起させながらの日々でした。

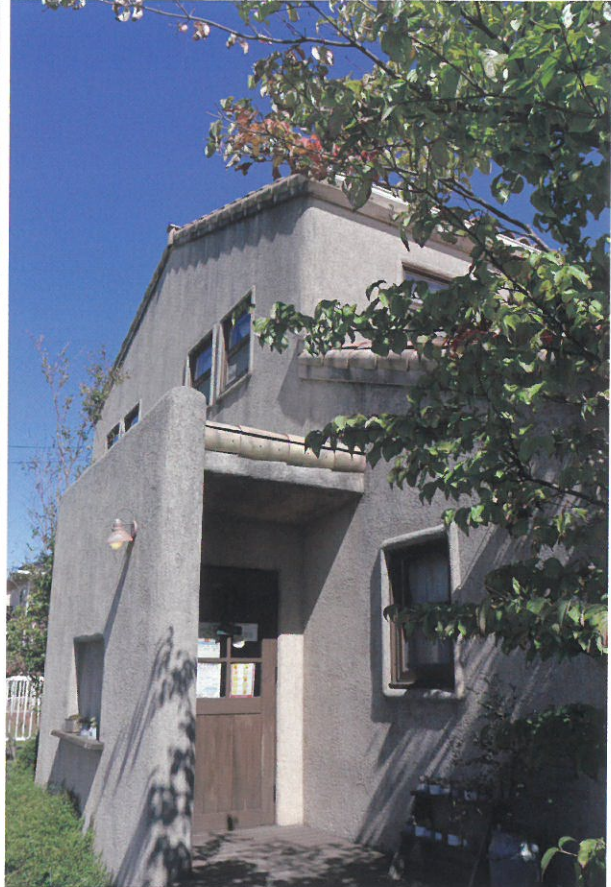
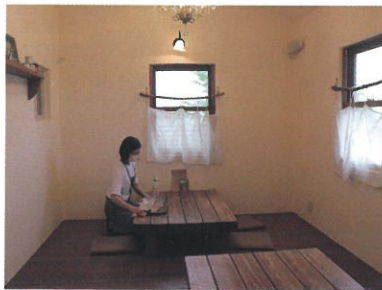
そして気付けば15年が経った今。

子育ても一段落し、時間に追われながらも、楽しく仕事ができる毎日。それは頑張ってきたご褒美のような日々です。

ムクでお客様をお迎えする毎日が何より好きだから、今まで続けてこられたし、これからも続けていくなと思います。

16年目が始まっていきますが、お客様と過ごす毎日を積み重ね、私の人生も豊かになれたらと思っています。

日々、感謝の気持ちを忘れず、  
お客様に精一杯のおもてなしを…。



# Next stage

就職にも進学にも強い坂井高校を目指し  
進路指導部では様々な行事に取り組んでいます。



# Find works &

## 坂井高校進路指導部の取り組み 未来を掴むため

「就職にも進学にも強い坂井高校」を目指し、進路指導部では様々な行事に取り組んでいます。

ここでは、その中の一部について紹介させていただきます。

### 1 合同企業説明会

平成30年度の第1回から今年で5回目を迎えました。今年度参加していただいた企業数は115社。学校単独の企業説明会としては全国でも最大規模のイベントです。

企業の方から直接話を聞くことができるため生徒達も意欲的に取り組んでいます。

### 2 長期企業実習

県内では坂井高校だけがを行っています。4月から11月まで毎週水曜日、年間約20日間企業で1日実習をします。企業等での実践的な実習と学校での基礎・基本的な学習を相互に関連させながら、卒業後の就職等に役立つ実践的な技術・技能を身につけることを狙っています。今年度は3年生10名が9企業で実習しています。

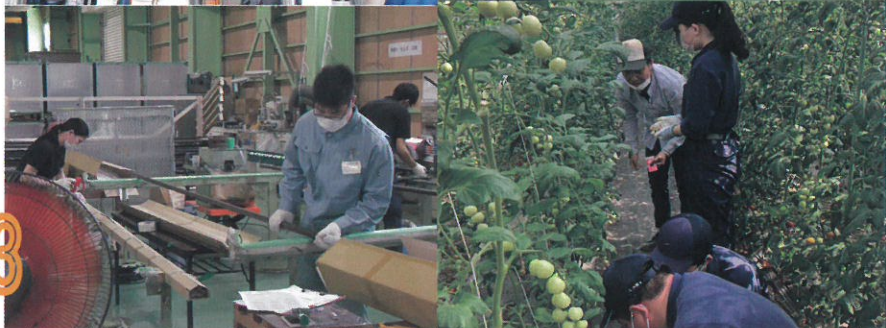
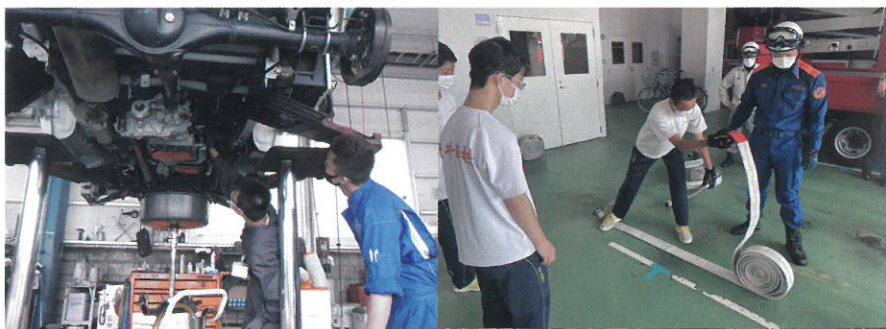
### 3 インターンシップ

2年生全員が毎年6月に3日間インターンシップを行っています。職場の雰囲気や技術に触れることにより、学習意欲を喚起するとともに、自己の進路選択に役立てることを狙っています。今年度は253名が140社にお世話になる予定です。

### 4 PUT進学指導の取り組み

本格的な入試対策が必要な大学進学希望者と看護系学校志望者に対して、特別講座と個別指導を行っています。

また、公務員志望者と仁愛女子短期大学志望者にも対策講座を実施しています。進学希望者の講座では、1年生では国・数・英の基礎学力をつける講座、2年生では小論文・面接で求められる思考力や表現力をつける講座を実施しています。3年生では、実践的な個別指導を行っています。口頭試問・教科のテストなど、学科対策が必要な生徒にはタブレット学習も取り入れて、学力向上を目指しています。



月お早良作悲恋物語とオカリナ



古き良きお江戸の時代

ごうちゃんウォーク

赤青黄色の風ぐるま

新しい令和が始まった

緑の風に誘われて風ぐるまが回る



ごうちゃんウォーク 6月5日(日)

今年は久しぶりに演仙寺(御油田区)までのウォーキング。長畑区の供養塔・長屋区の松屋地蔵を通り、演仙寺に到着。ご住職のお話を聞き、「お寺でコンサート」と題して、オカリナの演奏を聴かせていただきました。御堂に響く音色は、ホールとは一味違い、さらに心に沁みるものがありました。

風車が東十郷小学校運動会に参上

5月23日に、各部会員の協力を得て、風車の取り付け作業を行いました。今回の風車のスタートは小学校の運動会。得点板の両側を飾りました。6月中は小学校で、7・8月にはコミセンで、9月には丸岡駅でそよ風を吹かせる予定です。



# MACHIKYO NEWS

## 広報部会

6月4日(土)

広報部会を開き、まち協広報紙「Gochan News」の今年度の編集方針を検討しました。今年度も、年4回発行、12ページオールカラーでまち協の活動報告とともに地域話題を掘り出していくこととしました。地域の小さな話題を事務局までお知らせください。情報お待ちしています。



## 入学祝い贈呈

6月1日(水)

青少年育成坂井市民会議から、小学1年生にささやかな入学祝いとして、消しゴムが贈られました。小学校では、市民会議東十郷支部長 後藤さんから、1年生代表に手渡されました。



## 花いっぱい運動(プランター配布)

6月14日(火)

5月に定植したプランターを、坪川生活環境部会長が東十郷地区の各区長さんのお宅に1鉢ずつ、公共施設に2鉢ずつお配りしました。今年も街中に笑顔の花が咲きますように…



## 3年ぶりのまちきょう総会

5月14日(土)

3年ぶりにまち協の総会を行うことができました。やはり、皆さんのお顔を見ながらの報告・審議は緊張感もあり、集うことの大切さを実感しました。

その後、地区区長会の研修として、市の安全対策課からの講話をお聞きしました。



## 花いっぱい運動(苗の定植)

5月30日(月)

今年は全部会員の協力のもと、プランターにペゴニアの苗の定植を行いました。みんなで作業するのは久しぶりで、わいわい楽しく、短時間で70鉢のプランターに花が咲きました。



## 安全パトロール

6月4日(土)

例年、梅雨の時期の前に行っている「危険箇所の安全パトロール」を、今年も行いました。川沿いを中心に、傷んだ看板の立て替えと、地区から要望のあった場所への新規の設置を行いました。事故が起きないことを祈ります。

SCHOOL

# 学校の今



## スマートルール集会



坂井中学校

令和4年4月24日(日)、生徒会活動のひとつであるスマートルール集会を行いました。「坂井スマートルール」とは、インターネットや携帯電話等の電子機器の利用についての坂井中学生のルールです。生徒会執行部が中心となり、毎年スマートルール集会を開いて、生徒の意見を取りまとめてルールを決めています。今年度は、事前に全校生徒、保護者の皆様にアンケートを実施しました。その結果を参考に生徒会執行部が原案を出し、各学級で意見を出し合いました。

また、PTA 役員の皆様にオブザーバーとして参加していただき、生徒の意見を聞くとともに、保護者の目線からの意見を話していただきました。それらを取りまとめて、生徒会執行部が修正案を出し、今年度のスマートルールが決定しました。



## 令和4年度 芸術観賞



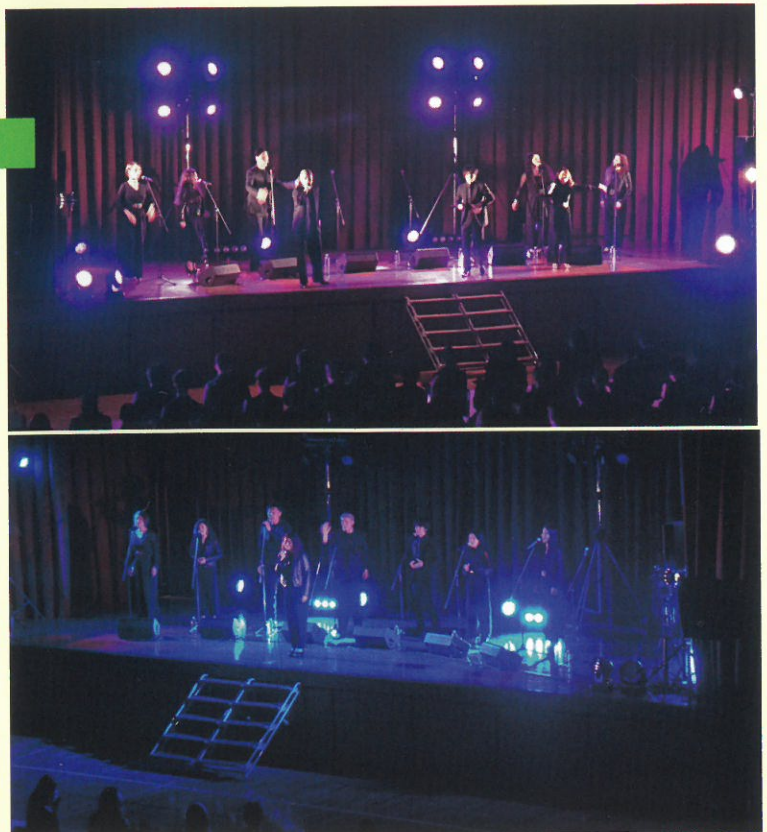
坂井高等学校

坂井高校では3年毎に実施している芸術鑑賞が去る5月2日(月)に実施されました。この芸術鑑賞は、生徒の皆さんが一生に一度になるかもしれない一流の芸術を鑑賞することで新たな気づきや夢や希望につながるものを見つけること、心に元気や潤いを感じ今後の高校生活に活かしてくれることを期待して実施しています。

今回の公演では「ザ・ソウルマティックス」というゴスペルグループを招いて伝統的なゴスペルから最近の流行歌に至るまでその歌声を堪能しました。

サプライズで披露いただいた「坂井高校校歌」は、いつもの雰囲気とは全く違う厳かな音調で、その大変素晴らしい歌声に魅了されました。

コロナ禍でいろんな行事が制約される中、今回の芸術鑑賞によって、生徒の皆さんは元気と活力をもらうことができました。そして、今後の高校生活を豊かなものにしてくれると思っています。



# 運動会を行いました

東十郷小学校



昨年度は秋の運動会でしたが、今年は春の運動会です。雨の心配がありましたが、当日は好天に恵まれ、風が強かったことを除けば、過ごしやすい日となりました。

児童は前日まで、学年種目や応援合戦の練習に力一杯取り組んできたので、予定通り運動会を迎えることができ、喜びもひとしおでした。また、多数の保護者の方々にもご参観いただき、子供たちの活動の様子を見てもらうことができました。

運動会を終えた6年生は、「勝ち負けよりも、みんなと団結して取り組めたことが一番うれしかったです。」と言っていました。5月26日です。



# 何をみつけようかな・・・



坂井こども園

春の日差しに誘われてお散歩に出かけています。

子ども達を見つけ「公園に除草剤まいたで気をつけて。」と出てきて教えてくださる方も。地域の方々に見守られながら春を満喫しています。



# 「わらぼうり」をはこう！



坂井松涛こども園

園庭に「わらぼうり」を置いてみると、すぐに興味を持った子どもたちが「これ何？」「サンダル？」などと珍しそうに近づいてきました。履き方を教え恐る恐る履いてみると、「気持ちいい〜」「痛い！」など感想は様々。引きずりながら歩くことは出来ても築山に登ろうとすれば脱げてしまい、思うように動くことが出来ません。しばらくしてコツをつかんだ子が出てくると「こうやって親指にぎゅっと力を入れるといいよ。」と、友だち同士教え合う姿が見られるようになり、いつもの靴とは違う感触を楽しんでいました。

友だちの姿を見て良い刺激となったようで、翌日も「わらぼうりを履きたい！」と言い、足の指を意識して歩いたり走ったりして楽しむようになりました。夏になるとさらに気持ちが良いとのことなので、その気持ちよさを味わいながらたくさん歩いて、足の指の力も鍛えて欲しいと思っています。今後、園児たちの遊びや動きがどう変わっていくのかとても楽しみにしています。





## 地区の紹介

福島区は旧坂井町の最南端にある戸数49戸の集落であり、集落の中央をJR北陸本線が通る珍しい集落です。その線路を境に東垣内（ひしがいち）と西垣内（にしがいち）に分かれており、それら2つの垣内は架道橋（JRアンダー道、1964年竣工）で行き来することができます。また、集落の北側を流れる兵庫川には、福島橋、福島新橋、新福島橋の3つの橋が架かっており、区民の生活には欠かせないものとなっています。さらに、兵庫川北側にはJR北陸本線を跨ぐ陸橋があり、現在、それに並行するように福井港丸岡インター連絡道路（地域高規格道路（4車線））の建設が予定されています。

## 行事／イベント

毎年恒例の行事として「新年祭」「春祭り」「夏祭り」「秋祭り」の神事や「年頭参り」「観音様法要」「地藏祭り」「洗心講」「八日講」の仏事が行われています。また「夏祭り」と同日に行われる「ふるさと祭り」では「子ども神輿巡行」「子ども春日豊年太鼓演技」「壮年会ビアガーデン」などのイベント、さらに11月には壮年会・婦人会が中心となっていく「そば会」（壮年会が打ったそばを区民みんなで食べる）のお楽しみ会があります。ただ、ここ2年間、コロナ禍の影響によりこれらの行事・イベントは中止や人数制限などを余儀なくされており、今はただただコロナが収まり、以前のような活動が復活することを願うばかりです。

（文責 福島区長 稲田 俊彦）

東十郷まちづくり協議会

〒919-0511 坂井市坂井町長畑 25-11-1  
 東十郷コミュニケーションセンター内 東十郷まちづくり協議会 TEL:66-4567 FAX:50-3083  
 E-Mail: jugo-p@mx3.fctv.ne.jp (お問い合わせやご意見・ご感想もこちらまでお気軽にどうぞ)  
<http://www3.fctv.ne.jp/~jugo-p> ※この冊子に掲載をご希望の方は振るって応募ください。

